



今月の農家さん

合わせる事の大切さ

野洲市吉川

辻 洋一郎さん (44才)



四季に合わせて、キュウリ、水稲、シュンギクを栽培している辻さん。作物が日々、大きくなっていく様子を楽しみにしながら、畑や田んぼに通っています。

辻さんが12年間の農業生活で、一番苦労したのは、一昨年の台風21号。それまでは台風が来ても大丈夫だったハウスが、半分近く倒壊してしまったそうです。

この苦い経験から、辻さんは「今まで通

りにいかない事もある」と痛感し、「周りの状況に合わせて事が大切」と考えるようになりました。

2月末に種まきをした春採れキュウリも、消費者の需要に合わせて作付を始めたものです。

最後に辻さんは「家族の口に合うように作物を育てています。『おいしい』のひとつが最高の褒め言葉です」と語りました。

営農情報

小麦の生育状況と今後の管理

◆小麦の生育状況

10月中〜下旬にまとまった雨があつた事から、早播きした圃場は少ない傾向です。

11月初旬に播種した圃場は生育が進み、茎数が多くなっています。

◆今後の管理について

小麦の評価基準をAランクとするために、次の2つの対策を実施しましょう。

(1) 排水対策

圃場の溝に水が溜まっていますか？これは排水不良の兆候です。過湿な土壌は、小麦の根に障害を引き起こし、収量や品質の低下を招きます。

収穫の前に再度、圃場を確認し溝が崩れて詰まっているところがないか確認してください。

(2) 施肥

1月の追肥以降は、生育を見ながら、穂肥などの施用時期や量を調整します。

特に、評価基準Aランクを狙う

年度	銘柄	タンパク	灰分	容積重	フォーリングナンバー	評価
令和元年度	農林61号	10.4%	1.62%	832g/ℓ	373	B
	シロガネコムギ	9.8%	1.52%	821g/ℓ	396	A
平成30年度	農林61号	9.9%	1.63%	826g/ℓ	393	B
	シロガネコムギ	9.9%	1.43%	811g/ℓ	350	A
	(基準値)	9.7～11.3%	1.60%以下	840g/ℓ以上	300以上	
	(許容値)	8.5～12.5%	1.65%以下	—	200以上	

※Aランク基準：基準値を3つ以上達成し、かつ、許容値を全て達成している

※Bランク基準：基準値を2つ達成し、かつ、許容値を全て達成している

※Cランク基準：基準値を1つ達成し、かつ、許容値を全て達成しているまたは、基準値を2つ以上達成しているものの、許容値を達成していない

※Dランク基準：基準値を全く達成していない または、基準値を1つ達成しているものの、許容値を達成していない

場合、小麦のタンパク質含有量と容積重を向上させるため、開花期ごろに「実肥」を施用することが重要です。